

Installation Instructions 施工説明書

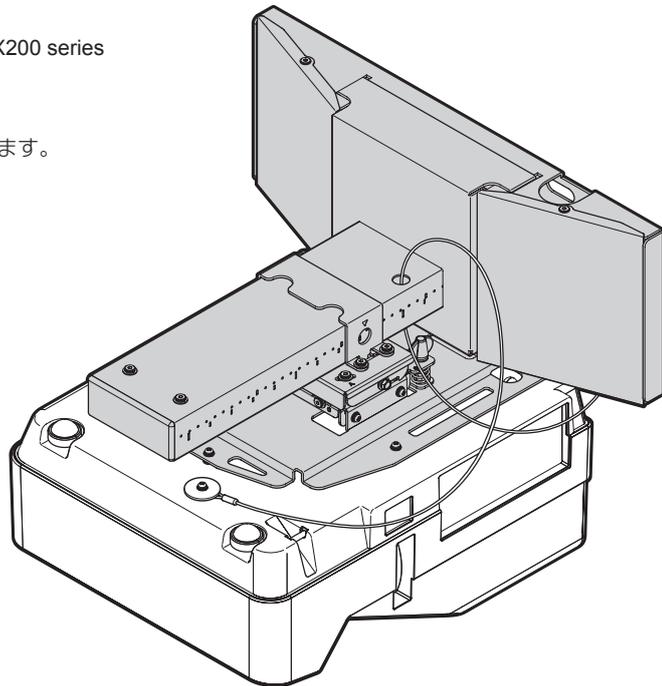
Wall Mount Bracket Commercial Use

壁掛け金具 業務用

Model No. **ET-PKC100W**

The illustrations used in this Installation Instructions show examples of installation to the PT-CW230/PT-CX200 series using the wall mount bracket.

本書の図は壁掛け金具を使用した、PT-CW230/PT-CX200シリーズへの装着例を示します。



Thank you very much for purchasing this Panasonic product.

■ To the customer

This Installation Instructions is for use by qualified technicians. Installation work must always be carried out by a qualified technician. In addition, after installation is complete, this Installation Instructions should be given to the customer to be kept in a safe place for later reference. If moving or dismantling the product, ask a qualified technician to carry out the work, and provide them with this Installation Instructions.

■ To the technician

Read this Installation Instructions carefully, and follow the instructions it contains to ensure safety while working. In addition, the information given in the "Safety Precautions" on pages E-2 and E-3 are extremely important and should be read thoroughly. Once installation is complete, give this Installation Instructions to the customer.

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ お客様へ

この「施工説明書」は、工事業者様用です。取り付け工事は、必ず工事専門業者にご依頼ください。また、工事完了後は、この「施工説明書」を工事業者様よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。移設、撤去の際には、工事業者様にご依頼のうえ、この「施工説明書」をお渡しください。

■ 工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。また、J-2～J-3ページの、「安全上のご注意」は、重要な内容ですので、必ずお読みください。工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しください。

■ もくじ

安全上のご注意	J-2~J-3
同梱品一覧	J-4
壁掛け金具を壁に取り付ける	J-5
取付金具を壁掛け金具に取り付ける	J-6
プロジェクターを取付金具に取り付ける	J-7
落下防止ワイヤーを取り付ける	J-8~J-9
調 整	J-10~J-12
投写距離表	J-13
外形寸法	J-14

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
	■ 壁掛けなどの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する (工事の不備により、大きな事故の原因となります。) →この施工説明書の内容に従って確実に施工してください。
	■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う (工法を誤ると壁掛け金具が落下してけがの原因となります。)
	■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う (本機はプロジェクターを含めると約13.8kg*となります。取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。) *平均値です。各部品で異なる場合があります。
	■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行う (倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。)
	■ 壁掛け金具のねじは、不用意に取り外したり、緩めたりしない (プロジェクターが落下して、けがの原因となります。)
	■ 強度の不足する場所に取り付けない (落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。)
	■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない (火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、壁かけ設置のときに落下するおそれがあります。)
	■ 付属品(ねじ、落下防止ワイヤー、六角レンチ(3mm、6mm)、ケーブル結束バンド)は、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) →万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
 分解禁止	■ 壁掛け金具を分解したり、改造したりしない (こわれたり、落下してけがをしたりする原因になります。)

安全上のご注意(つづき)



注意



- 指定のプロジェクター以外は取り付けない
- 指定の方法以外の取り付けは行わない
(落下したり、破損してけがの原因になります。)

- プロジェクターの吸・排気をさまたげる場所に設置しない
(火災の原因となることがあります。)

- プロジェクター本体や壁掛け金具にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしない
(プロジェクター本体が落下してけがの原因となることがあります。)

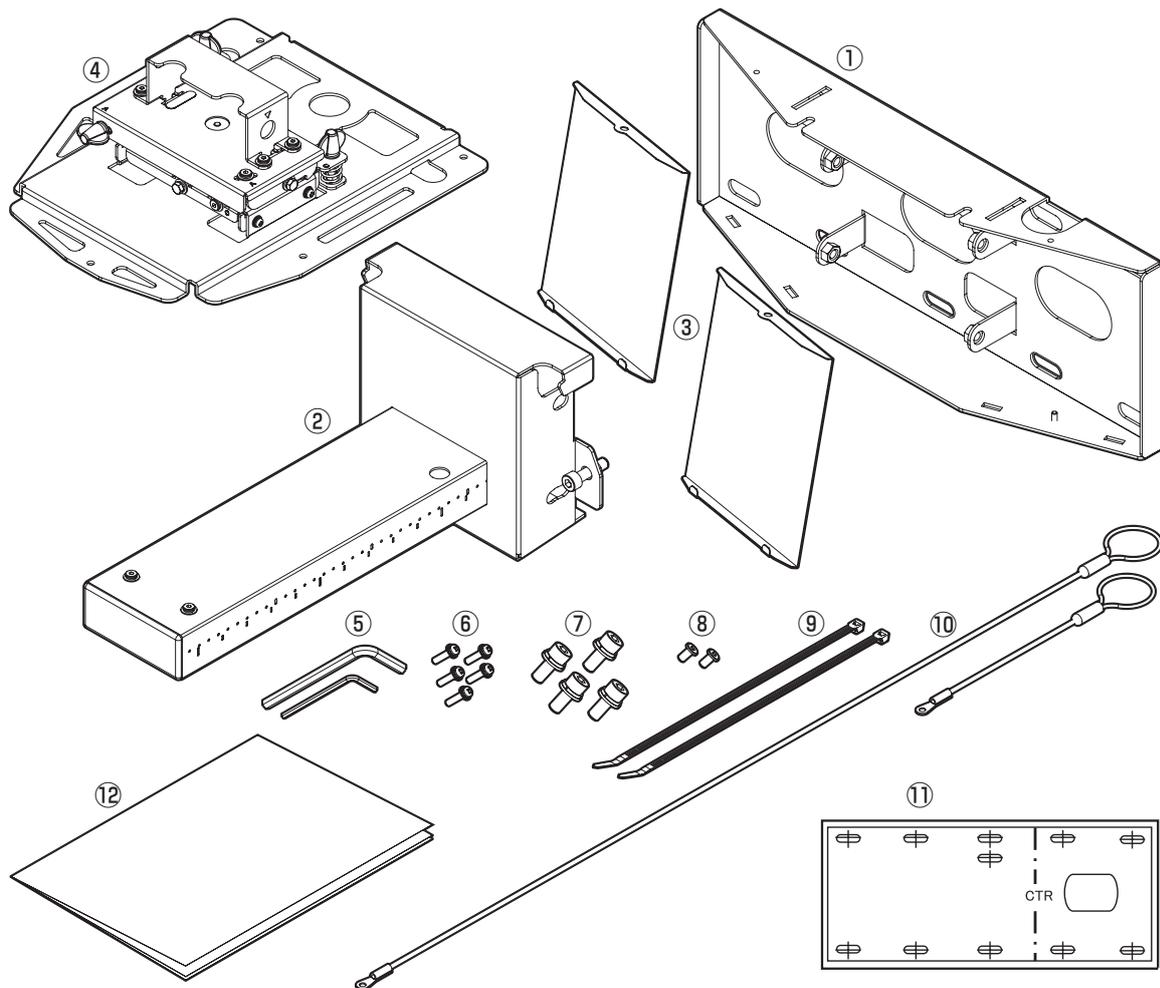


- 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を使用する
(こわれたりプロジェクターが落下してけがの原因になります。)

- 取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置する
(壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。)

- 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません

同梱品一覧



- | | | | | | |
|------------------------|-------|-------------------|------------------------|-------|----------|
| ① 壁掛け金具 | | 1個 | ⑧ ねじC(六角穴付ボルト M5×10mm) | | 2個 |
| ② 取付金具 | | 1個 | カバー板金 取付用 | | 2個 |
| ③ カバー板金 | | 2個 | ⑨ ケーブル結束用バンド | | 2本 |
| ④ 調整ユニット | | 1セット | ⑩ 落下防止ワイヤー | | 2本(長)(短) |
| ⑤ 六角レンチ | … | 2本(3mm…1本、6mm…1本) | ⑪ 壁掛け金具取付用シート | | 1枚 |
| ⑥ ねじA(なべネジ M4×18mm) | | 5個 | ⑫ 施工説明書 | | 1冊(本書) |
| プロジェクトターと調整ユニット取付用 | | 5個 | | | |
| ⑦ ねじB(六角穴付ボルト M8×20mm) | | 4個 | | | |
| 取付金具と壁掛け金具取付用 | | 4個 | | | |

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締め付けトルクは、ねじA(M4ねじ：1.1N・m～1.3N・m)、ねじB(M8六角穴付きボルト：9.5N・m～10.5N・m)、ねじC(M5六角穴付きボルト：2.3N・m～2.7N・m)で管理してください。
- 使用を終了した金具は工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクレンチなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

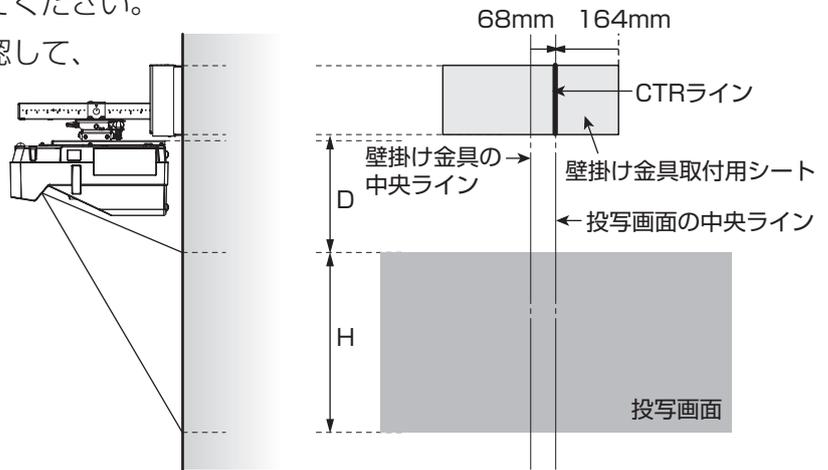
お願い

- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

壁掛け金具を壁に取り付ける

① 付属の壁掛け金具取付用シートを使って、まず壁掛け金具の設置位置を決めます。

- 投写距離表(J-11ページ)と外形寸法(J-12ページ)を参考にして、スクリーンサイズ、投写画面と壁掛け金具の距離を確認します。
- 壁掛け金具の中央ラインとプロジェクターの投写画面の中央ラインは同じではありません。図のように壁掛け金具取付用シートに印刷されているCTRラインをプロジェクター投写画面の中央ラインに合わせるようにしてください。
- 投写部分が壁のどこにあるか確認して、必要に応じて位置を上下左右に動かしてください。



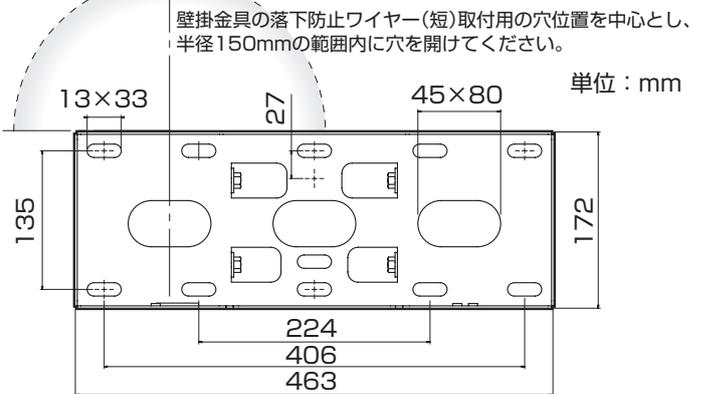
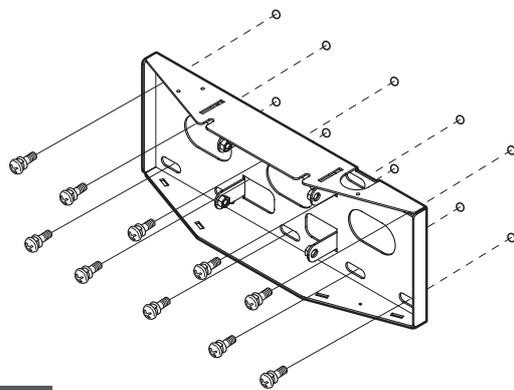
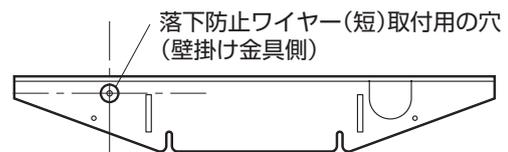
② 壁掛け金具取付用シートを壁に取り付けてください。

③ 壁の必要なところに壁掛金具取付用の穴を開けてください。

④ 壁掛け金具取付用シートをはずしてください。

⑤ 壁掛け金具を壁に取り付けてください。

⑥ 落下防止ワイヤー(短)取付用の穴を開けてください。(取付位置は右図参照)



お願い

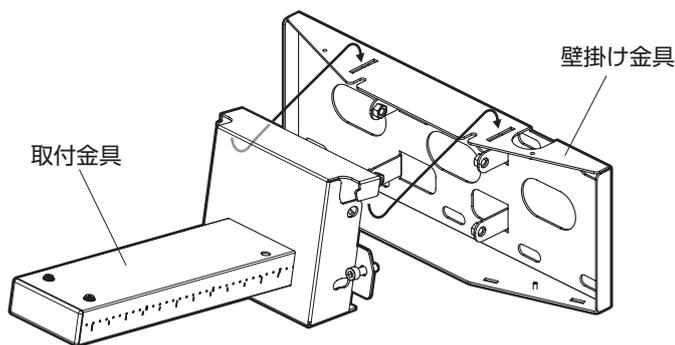
- 壁掛け金具取り付け用のナット、ボルト、ワッシャーは、市販品をお求めください。

警告

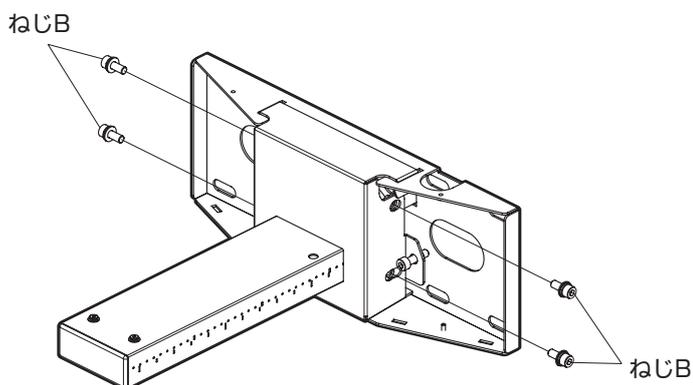
- 取付金具とプロジェクターを壁に取り付けるときは、壁は取付金具とプロジェクターを支える十分な強度が必要です。設置前に取付金具とプロジェクターの合計質量をご確認ください。もし壁が十分な強度がない場合は、取り付け前に壁を強化してください。(本機はプロジェクターを含めると約13.8kgとなります)
- 設置には市販品のアンカープラグ(M12)を使用し、木ネジは使用しないでください。
- 市販品のM12のナット、ボルトとワッシャー(外径φ26mm)を使用してください。M12より小さいナットとボルトを使用すると取付金具が落下する恐れがあります。(かならず4ヶ所以上でとめてください)
- 不適切な設置によって発生した破損や傷害については、当社は責任を負いません。

取付金具を壁掛け金具に取り付ける

- ① 取付金具を壁掛け金具の溝に引っ掛けてください。



- ② 付属の六角レンチ(6mm)を使用して、付属のねじB(4ヶ所)で締めてください。

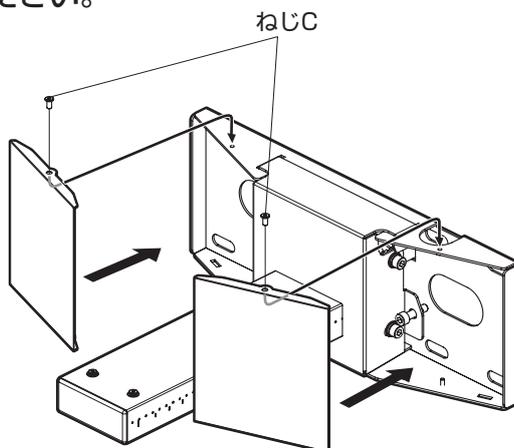


⚠ 注意



M8×20mmねじB(同梱品)の締め付けトルクは9.5N・m～10.5N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

- ③ 付属の六角レンチ(3mm)を使用して、付属のねじC(2ヶ所)を使用して、取付金具に左右のカバー板金を取り付けてください。



⚠ 注意



M5×10mmねじC(同梱品)の締め付けトルクは2.3N・m～2.7N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

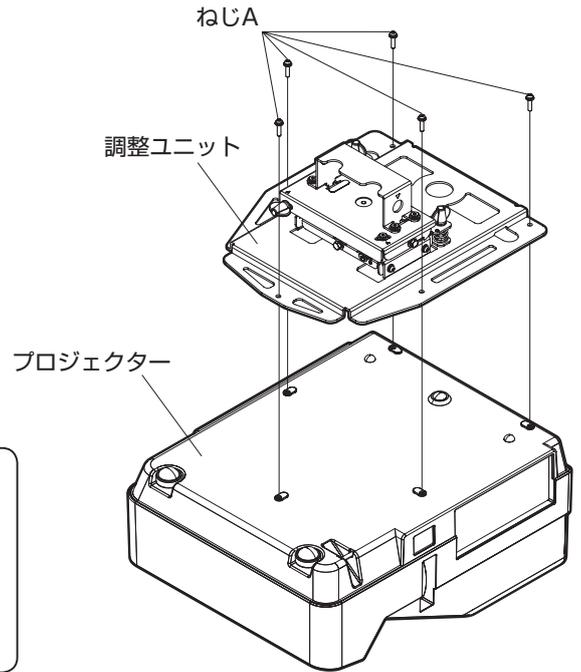
プロジェクターを取付金具に取り付ける

- ① 市販品のドライバーを使用して、付属のねじA(5ヶ所)を使用して、調整ユニットをプロジェクターに取り付けてください。

⚠ 注意



M4×18mmねじA(同梱品)の締め付けトルクは1.1N・m~1.3N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

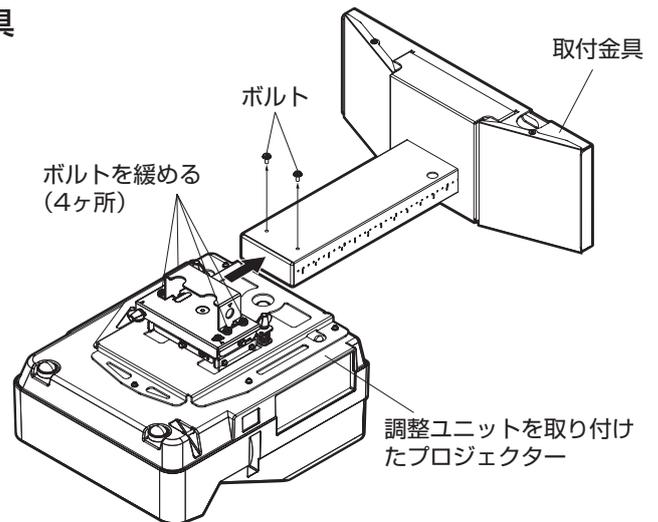


- ② 付属の六角レンチ(3mm)を使用して、取付金具の天面にあるボルト【抜け防止用】(2ヶ所)を取りはずして、調整ユニットを取り付けたプロジェクターの天面のボルト(4ヶ所)を緩めて取付金具に差し込んでください。

⚠ 警告



取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。

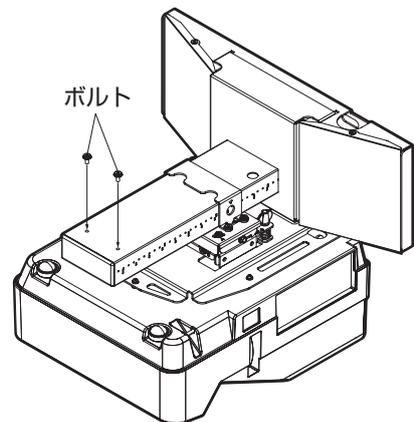


- ③ 付属の六角レンチ(3mm)を使用して、緩めたボルト(4ヶ所)を締めてプロジェクターを取付金具に固定してください。
取りはずしたボルト【抜け防止用】(2ヶ所)を取り付けてください。

⚠ 注意



ボルトの締め付けトルクは2.3N・m~2.7N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。



落下防止ワイヤーを取り付ける

プロジェクターの落下を防止するために、付属の落下防止ワイヤーをプロジェクターと壁掛け金具と壁に取り付けてください。



注意

プロジェクターの落下防止について

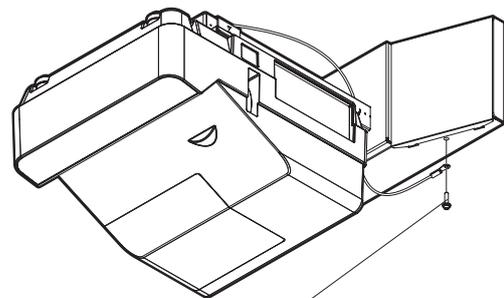
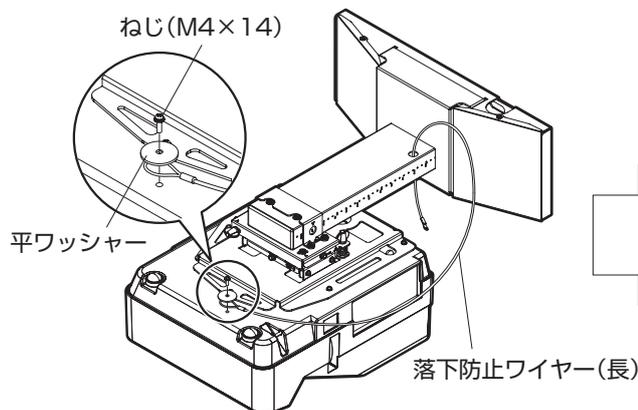
- ここで説明されているプロジェクター本体の落下防止措置は必ず行ってください。

① 付属の落下防止ワイヤー(長)をプロジェクターと壁掛け金具に取り付けます。

プロジェクターにワイヤーを固定するねじは、市販品のM4×14mmのなべねじをご使用ください。また、平ワッシャーは、市販品の内径8.4mm、外径30mm以上、厚み2mm以上のものをご使用ください。

落下防止ワイヤー(長)は、図のとおり組みつけること。プロジェクターにねじ止め後、取付金具の穴に上から下にワイヤーを通し、壁掛金具にねじ止めをしてください。

※この通り組みつけられなければ、破損の原因などになる可能性があります。



ねじ(M4×10)を取り外して、図のように落下防止ワイヤー(長)を壁掛金具に固定してください。
※ねじ(M4×10)は元より壁掛金具に取り付けているものを使用してください。



注意



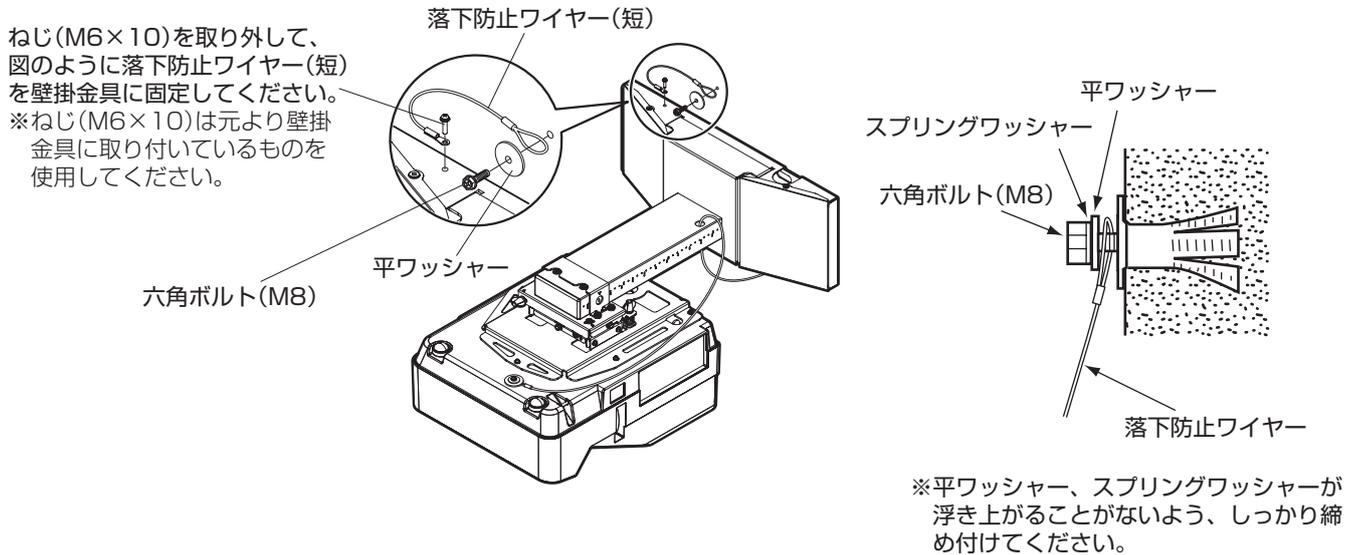
M4×14mmねじ(市販品)および金具に取り付けているねじM4×10mmの締め付けトルクは1.1N・m~1.3N・mとしてください。

正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

落下防止ワイヤーを取り付ける(つづき)

② 落下防止ワイヤー(短)を壁掛け金具と壁に取り付けます。

壁にワイヤーを固定するねじは、市販品のM8の六角ボルトをご使用ください。また、平ワッシャーは、市販品の内径8.4mm、外径30mm以上、厚み2mm以上のものをご使用ください。



お願い

- M4×14mmのねじ、M8六角ボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャーは市販品をお求めください。

注意



金具に取り付けているねじM6×10mmの締め付けトルクは3.5N・m～4.5N・mとしてください。
M8の六角ボルト(市販品)の締め付けトルクは9.5N・m～10.5N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

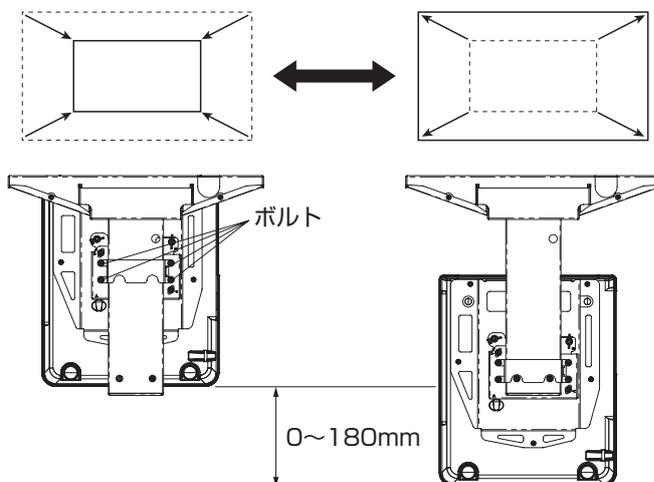
調整

調整のまえに

- プロジェクターの取扱説明書をご覧ください電源を入れ、映像を投写してください。
- ズームで投写サイズを仮決めしてから、角度調整を行ってください。

① 前後調整(調整レンジ：0～180mm)

- 取付金具の天面にあるボルト(4ヶ所)を付属の六角レンチ(3mm)を使用して緩めて、取付金具のスライド部分を調整してください。調整後は緩めたボルト(4ヶ所)を締めてください。



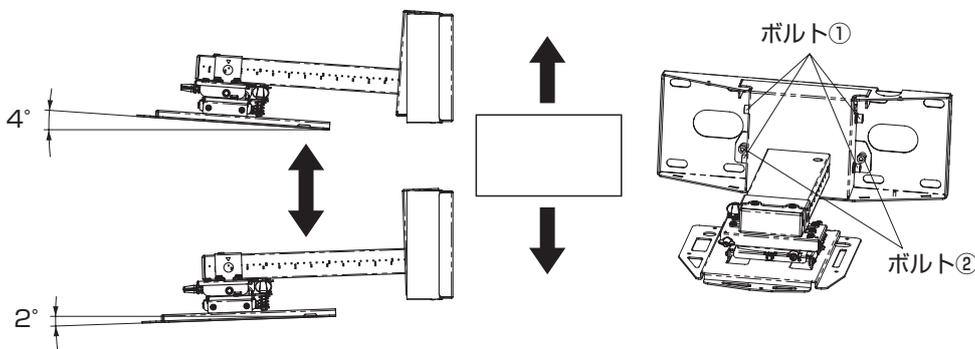
⚠ 注意



ボルトの締め付けトルクは $2.3\text{N}\cdot\text{m}$ ～ $2.7\text{N}\cdot\text{m}$ としてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

② 上下垂直方向調整(調整レンジ： $+4^\circ$ ～ -2°)

- 取付金具の左右の金具を取りはずしてください。
- 調整のために、取付金具の中のねじB(4ヶ所)を付属の六角レンチ(6mm)を使用して緩めてください。
- 付属の六角レンチ(6mm)を使用して、取付金具の中にあるボルト②(2ヶ所)で垂直方向の調整をしてください。(ボルトの先端が左右均等に当たる様に調整ください)
- 緩めたボルト①(4ヶ所)を付属の六角レンチ(6mm)を使用して締めてください。
- 調整後、左右の金具を取り付けてください。



⚠ 注意

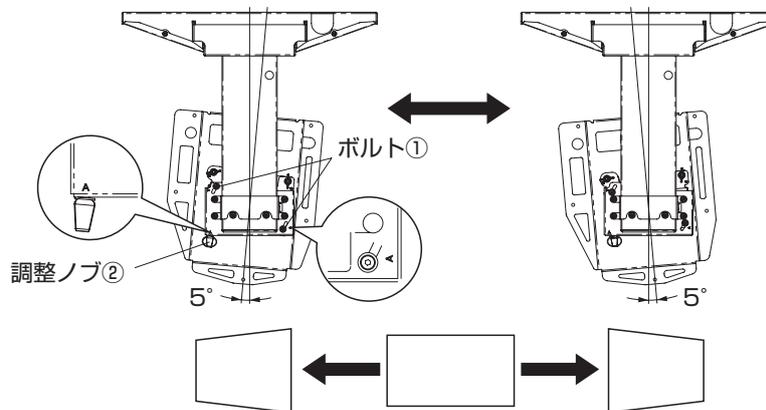


M8×20mmねじB(同梱品)の締め付けトルクは $9.5\text{N}\cdot\text{m}$ ～ $10.5\text{N}\cdot\text{m}$ としてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

調整(つづき)

③ 水平方向の回転調整(調整レンジ: +5° ~ -5°)

- 調整のために、取付金具の天面にあるボルト①(2ヶ所)を付属の六角レンチ(3mm)を使用して緩めてください。
- 取付金具の左側にある調整ノブ②を回して水平方向を調整してください。
- 緩めたボルト①(2ヶ所)を付属の六角レンチ(3mm)を使用して締めてください。



※ボルトと調整ノブの位置がわかるように、それらの横には「A」の印が金具にマークされています。

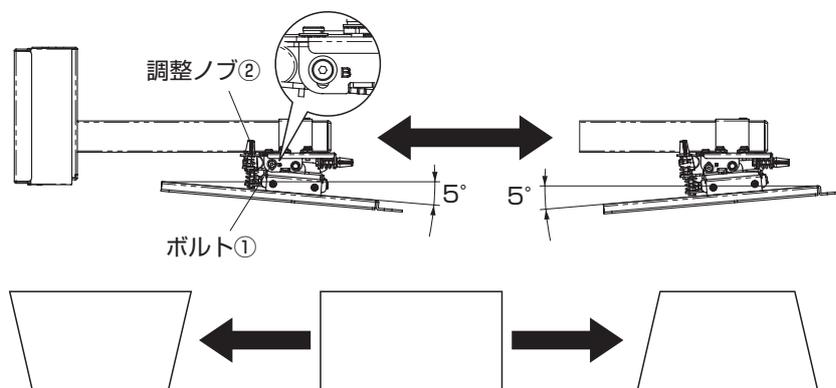
注意



ボルト①の締め付けトルクは2.3N・m~2.7N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

④ 前後傾き調整(調整レンジ: +5° ~ -5°)

- 調整のために、取付金具の左側にあるボルト①を付属の六角レンチ(3mm)を使用して緩めてください。
- 取付金具の天面左側にある調整ノブ②を回して前後の傾きを調整してください。
- 緩めたボルト①を付属の六角レンチ(3mm)を使用して締めてください。



※ボルトと調整ノブの位置がわかるように、それらの横には「B」の印が金具にマークされています。

注意

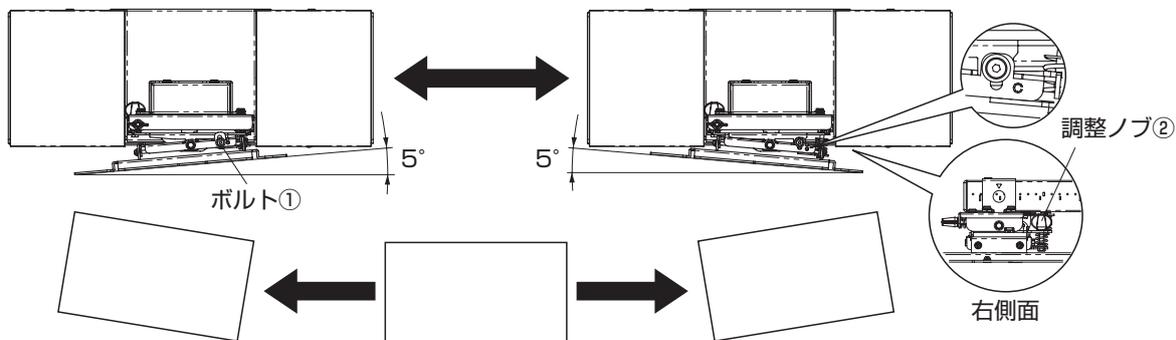


ボルト①の締め付けトルクは2.3N・m~2.7N・mとしてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

調整(つづき)

⑤ 水平方向左右傾き調整(調整レンジ: +5° ~ -5°)

- 調整のために、取付金具の右手前にあるボルト①を付属の六角レンチ(3mm)を使用して緩めてください。
- 取付金具の天面右側にある調整ノブ②を回して左右の傾きを調整してください。
- 緩めたボルト①を付属の六角レンチ(3mm)を使用して締めてください。



※ボルトと調整ノブの位置がわかるように、それらの横には「C」の印が金具にマークされています。

⚠ 注意



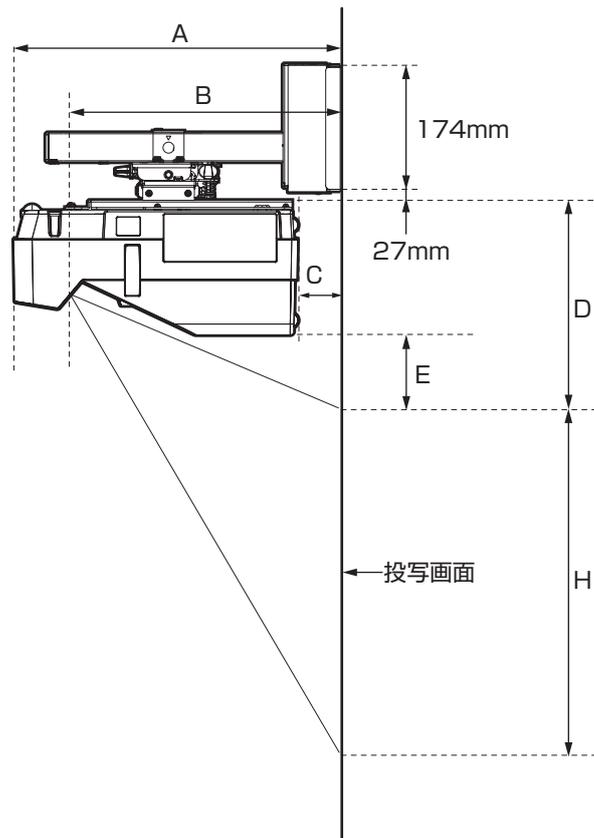
ボルト①の締め付けトルクは $2.3\text{N}\cdot\text{m}$ ~ $2.7\text{N}\cdot\text{m}$ としてください。
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

⚠ 注意



調整後は、しっかり締め付けられていることを確認してください。
プロジェクターが落下して、けがの原因となります。

投写距離表



●Panasonic PT-CW230

単位：cm

画面サイズ	A	B	C	D	E	H
110インチ (16:10)	54.5	45.5	15.9	32.5	14.7	148.1
100インチ (16:10)	50.0	41.0	11.4	30.5	12.7	134.6
97.5インチ (16:10)※	48.8	39.8	10.2	30.0	12.2	131.3
96インチ (16:10)	48.2	39.2	9.6	29.7	11.9	129.2
90インチ (16:10)	45.5	36.5	6.9	28.5	10.7	121.2
87インチ (16:10)	44.1	35.1	5.5	27.9	10.1	117.1
80インチ (16:10)	41.0	32.0	2.4	26.5	8.7	107.7
78インチ (16:10)	40.1	31.1	1.5	26.1	8.3	105.0
74.6インチ (16:10)	38.6	29.6	0.0	25.4	7.6	100.4
70インチ (16:10)	36.5	27.5	-2.1	24.5	6.7	94.2
60インチ (16:10)	32.0	23.0	-6.6	22.5	4.7	80.8

※95"(16:9)ホワイトボード

●Panasonic PT-CX200

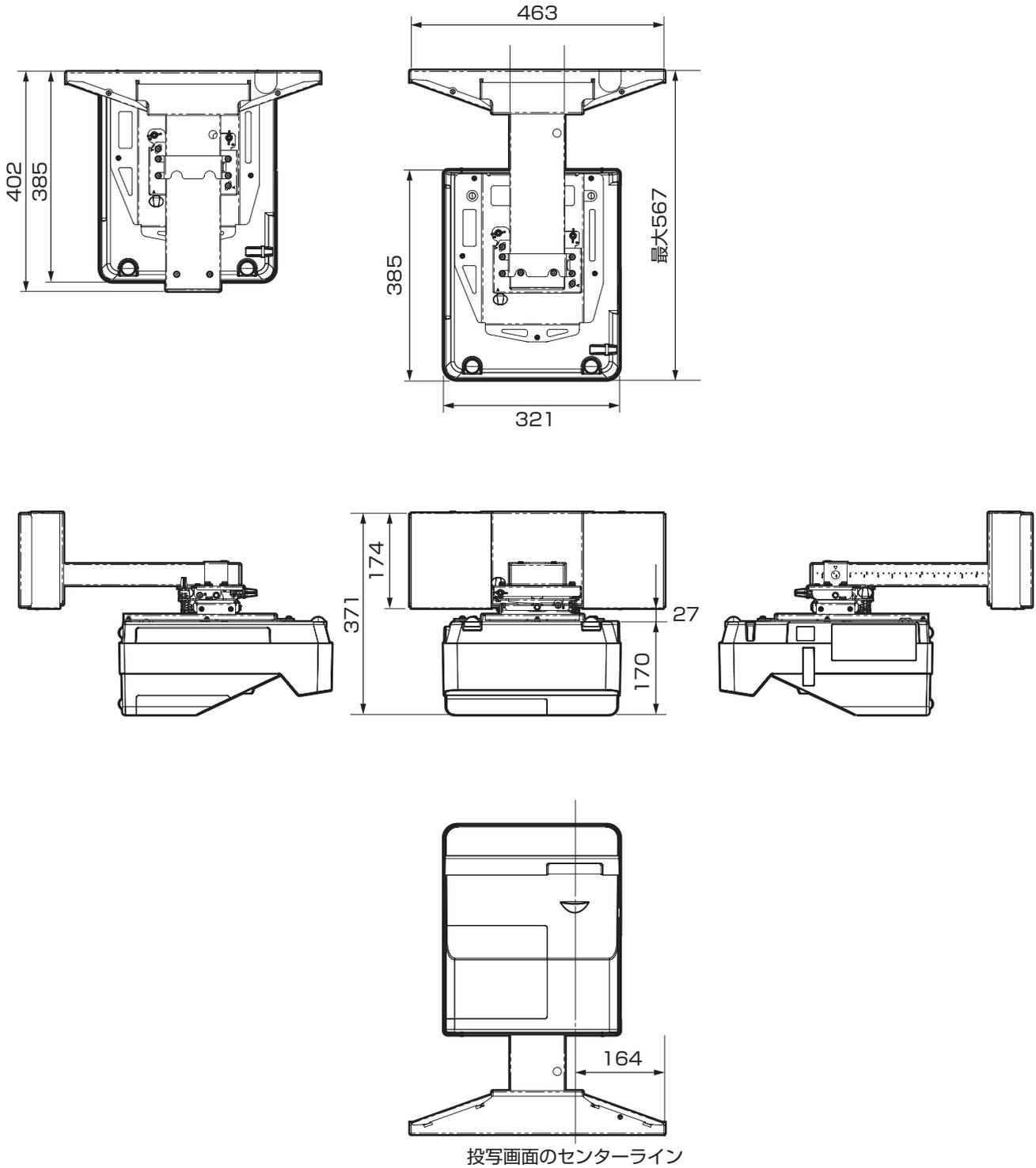
単位：cm

画面サイズ	A	B	C	D	E	H
90インチ (4:3)	52.7	43.7	14.1	34.6	16.8	137.2
87インチ (4:3)	51.1	42.1	12.5	33.8	16.0	132.6
80インチ (4:3)	47.4	38.4	8.8	31.9	14.1	121.9
78インチ (4:3)	46.3	37.3	7.7	31.4	13.6	118.9
70インチ (4:3)	42.0	33.0	3.4	29.3	11.5	106.7
64インチ (4:3)	38.8	29.8	0.2	27.6	9.8	97.5
63.5インチ (4:3)	38.6	29.6	0.0	27.5	9.7	96.8
63インチ (4:3)	38.3	29.3	-0.3	27.4	9.6	96.0
60インチ (4:3)	36.7	27.7	-1.9	26.6	8.8	91.4
55インチ (4:3)	34.1	25.1	-4.5	25.2	7.4	83.8

※A、B、Cは投写画面(スクリーン)からの距離です。設置状況によっては、取付金具を取り付けた壁からの距離とは異なります。

外形寸法

単位：mm



Panasonic Corporation

Web Site : <http://panasonic.net/avc/projector/>

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 電話 ☎ 0120-872-601